

働くお母さんは私の自慢!-- 長女から貰った宝物のメッセージ

森茂子（日本アイ・ビー・エム株式会社 ソフトウェア開発研究所 部長
シニア・ソフトウェア・エンジニア）

仕事の内容とやりがい

IBMでコンピュータ・ソフトウェア開発の仕事をしています。お客様の役に立つソフトウェアとはどのような物なのか調査し考え（分析）、必要な機能や仕組み・構造を考えて（設計）、チームでプログラムを作り上げる仕事です。アメリカや中国の開発チームとも協業しています。私の役割は分析・設計の担当と日本の開発チームのリーダーです。国を超えた仲間と一緒に一つの物を作り上げた時の達成感、お客様に喜んでもらった時の嬉しさが、この仕事の醍醐味です。そして作ったソフトウェアがお客様のコンピュータ・システムの中で動いて世の中に役に立っていることが何よりのやりがいです。

仕事と生活のバランス

大学3年と中3の娘2人。長女出産後に1年半の育児休暇を取得。幸い上司も夫も応援してくれ、時間をやりくりして今まで続けてこられました。一方で子供達は寂しいこともあったと思います。でも長女が中3の時のこと、仕事で少し嫌な事があったので「やだなー仕事やめちゃおうかなー」と愚痴を言う私に「えー、やめたらだめだよ！お母さんが働いてるのって、実はちょっと自慢なんだよ」と言ってくれたのです。嬉しくて涙が出、それまでの苦勞が吹き飛びました。これから社会に出る人、今仕事と家庭の両立で大変な人、あきらめずに好きなことを続けてください。その先にきっと素敵なことがあると思います！

進路決定のきっかけ

小学生のときから、理科の実験が大好きでした。色が変わったり、電気がついたり、物が動いたり、そういうことをやってみるのが楽しかったのです。また、大人になって子供ができてでも働き続けたいと漠然と思っていました。高校生の時に所属した理科学研究部で、コンピュータのソフトウェアを作る仕事があることを知りました。この技術を身につければ、結婚しても子供ができてでも働き続けることができるかもしれない、そう考えてコンピュータサイエンスの学科のある大学を選びました。

進路選択に対してのメッセージ

理系進路を希望していても、難しそうなので文系へ・・・という話を聞くことがあります。成績だけで理系・文系進路を決めずに「好き、楽しい」を判断基準にして進路を考えてみてください。好きな事こそ、あなたの強みになると思います。

海外留学・勤務を通じて得たこと・得したこと

20代後半にアメリカのカリフォルニアにあるIBMシリコンバレー研究所に半年出張しました。アメリカの開発チームに参加したことで、日本の開発チームの強み・弱みを知ることができました。現在もシリコンバレー研究所などグローバルチームで協業しています。20代後半に肌で感じたことが、日本の強みを発揮するにはどうすればよいか考える核となっており、私の強みになっていると感じています。写真は、サンノゼ郊外にあるシリコンバレー研究所で、外で散歩コースから映したものです。右側の建物が研究所、周りの丘には牛が放牧されていてとてもどかな所です。

海外留学・勤務を決めたきっかけについて

コンピュータの分野で最も先進的で魅力的な企業であること、男女の区別無く働けると聞いたことで、IBMへの就職を決めました。とはいえ、特に英語の勉強をしたわけではなかったため、入社後英語にとっても苦労しました。日本の英語学校に通ったり実務で英語を使ったりするうちに習得しましたが、学生時代に海外経験をしておけば良かったとつくづく思います。今春、勤続25周年記念の4週間の休暇をもらえたので、大学生の長女と一緒にイギリスのロンドンにある語学学校に短期留学しました。同じ学校で私はビジネス英語、長女は一般英語のクラスです。ヨーロッパの英語に慣れることができ、貴重な体験でした。

滞在先の思い出・生活者としての体験

アメリカでは様々な人種、年齢、性別の人達が協業しているおかげか、他の人の事情を理解する寛容さを持っていると感じます。10年以上前から既に、朝型社員や在宅ワーカー、育児と両立している女性、赤ちゃんを保育園に迎えに行く男性など、様々な働き方が見られました。周囲もそれを受け入れ、会議時間を調整するなどの配慮をしており、理想的な職場環境だと思いました。一方、働く側は短時間でも成果を出す必要があるのはもちろんです。各人に適した働き方でより成果を生み出す成果主義が有効に機能するためには、一人一人が異なる価値観を理解する必要があると思いました。

<森茂子（もりしげこ）プロフィール>

1981年 大阪府立大手前高校卒
1985年 電気通信大学計算機科学科卒
同年日本アイ・ビー・エム入社～現職
1991年 第1子出産
1997年 第2子出産



IBM Silicon Valley Labにて